

南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会 第4回グループワークの結果について(要点筆記)

○グループメンバー

グループ1		グループ2		グループ3		グループ4	
商工会:小林徳男	農業協同組合:肥后久	市議会:飯野久	あんふあんねっと:軽部妙子	中北保健福祉事業所:保坂理恵	市議会:戸栗淳	社会福祉協議会:八田房男	
市議会:小池伸吾	ハローワーク:斉藤裕之	UTY:山本太	山梨中央銀行:清水大学		郵便局:森敦広		

○今後(5年間)の取り組みを検討してください。

項目	検討項目	対象	取組内容	成果
グループ1	・働きたい場所の多様化に向けた取り組み	・企業の人材確保 ・移住希望者 ・農家(後継者がいない) ・新規就労者	・意識改革・環境整備・技術支援・マッチング ・流れをつくる・農業起業支援 ・農業拡大支援 ・リスキニング(会社員⇄農家)	・働き手の拡大(前期高齢者、シニア) ・新たな担い手とのマッチング
グループ2	・効果的なシティプロモーションに関する取り組み	・県内 ・県外 ・移住者向け ・全世界	・積極的かつ継続的に発信 ・(県内)県内に住む方に向けたメリットの発信 ・(県外)自然との共生を発信 ・(移住者)子育て支援、教育の充実 ・(全世界)体験 ・魅力の再発掘 (富士山や北岳、当たり前コンテンツを確認)	・移住者増 ・市外の人にはわからない心の充実 ・市内の人にはわからない魅力の発掘 ・インバウンド
グループ2	・観光産業の基盤整備に関する取り組み(滞在型観光や機運の醸成等) ・観光施策としての空き家利活用に関する取り組み	・人材募集 ・空き家利活用	・(観光産業)ノウハウ不足の解消(講習会など) ・(空き家)交流拠点の創出(カフェなど) ・(空き家)マッチングと取得支援	・滞在時間の増加、経済の循環 ・(観光産業)スポーツ、ロードバイクなど ・(観光産業)1施設で食事、宿泊、体験の提供 ・インバウンド
グループ3	・教育の充実に関する取り組み	・市内子ども ・市外子ども ・教育環境 ・民間企業	(市内子ども) ・あらゆる子どもの居場所をつくる →地域の人に関わってもらう →地域の子の居場所、世代間交流 →民間会社 ・学校教育のモデル校、攻めの一貫校 →専用市バス 上記取り組み等に対して企業との関わり方 →企業寄附 →半導体の関連専門学校 →コーサー専門学校・研究所 →巨摩白根南アルプスユネスコ特別クラス	教育環境の充実 教育特化のまちづくり

グループ4	・地域防災力の向上に向けた取り組み	・自助・共助に向けた自治会の対策 ・自治会未加入者 ・高齢者、障がい者、子育て世代	・意識の改革を促す ・防災リーダーの役割 ・デジタル発信 →地域のネットワークを強化する ・地域防災会の設置・充実	・防災に対する認知度の向上 ・防災弱者の減少 ・自治会に限らない地域住民の参加
グループ4	・住宅施策としての空き家対策に向けた取り組み	・利用者 ・迷惑空き家(損壊・鳥獣被害) ・都心部居住者 ・自然志向派 ・子育て世代	・改修等への助成 ・築〇年以上の空き家に対する条例の設定(強制執行) ・リノベーション(間伐材利用など) ・リース→買取	・移住者の受け入れ態勢の強化 ・人口増 ・定住者増
個別	・農業従事者の高齢化に伴う担い手不足に対する取り組み	・若い世代 ・早期退職者 ・農業関係学校	・太陽光や水耕栽培など安定した農法 ・施設での農業従事 ・助成金	・遊休農地減少 ・新たな農産ブランドの創出 ・農業従事者増
個別	・地域防災の向上に向けた取り組み	・高齢者 ・単身世帯 ・障がい者	・タブレットを活用した防災情報等の発信(双方向で行える)	・防災弱者の減少
個別	・働きたい場所の多様化に向けた取り組み	・山間地住民 ・高齢者	・移動手段の検討 ・予算の確保	・交通弱者の減少 ・高齢者等の引きこもりを減らし健康につながる
個別	・農業施策について	・遊休農地活用	・オーリーブの推奨 →鳥獣外対策(鳥獣が食べない)	・11月後半～1・2月が出荷時期となるため、農閑
個別	・農業従事者の高齢化に伴う担い手不足に対する取り組み ・遊休農地や荒廃農地解消に対する取り組み	・個人経営者 ・農業法人	・法人化に向けた取り組み(県内外の農業法人、もしくは起業予定者)	・農地の集約による大規模化
個別	・遊休農地や荒廃農地解消に対する取り組み	・市内遊休農地	・耕作可能な土地にする(伐採等)	・借地、売買しやすくなる
個別	・住宅施策年の空き家対策に向けた取り組み	・移住希望者 ・空き家所有者	・手が付けられなくて困っている所有者の物件を安価にて、購入希望者へ紹介するなど(マッチング)	・空き家の減少 ・移住者の住宅確保
個別	・働きたい場所の多様化に向けた取り組み(起業や企業への支援、人材育成等) ・今後の人手不足を乗り越えるための取り組み	・企業および労働者 ・高齢者 ・障がい者等	・雇用の流動化を促す教育 ・採用者枠や雇用環境の見直しを支援	・人材不足による倒産の防止 ・今、働けてない人材の活用
個別	・働きたい場所の多様化に向けた取り組み(起業や企業への支援、人材育成等)	・未就労者・学生・高齢者 ・企業・事業所	・未就労者への就労就業支援 ・企業や事業所への従業員へのセミナー開催	・働きたい場所での就労 ・従業員の離職防止
個別	・働きたい場所の多様化に向けた取り組み(起業や企業への支援、人材育成等) ・市を窓口とした受付やJAとの連携	・新規就農者	・補助金・農業法人等 ・遊休地利用での研修	・独立した農業経営
その他	・エリアを限定したウーバー事業			